



CRAG

クラッグ | ティーグラビックスリー

T-GRABIC III

ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

SIZE	H-PCD	PRICE
16×7.0J	5-114.3	4万4000円~5万6000円
17×8.0J	6-139.7	5万1700円~5万8300円

- カラー: マットブラック、ブラッククリアグレー
- 構造: 鍛造1ピース

強靱さと足長感を強く意識させるツインスポークや、その間にある一段落としのトラス形状、天面切削、新しいディンプル処理を施したフランジのほか、最新作ではオーナメントまでも刷新。これまでのオフのイメージだけに縛られない、アーバンなシーンにも合う新世代モデルとなっている。



マットブラック
ブラッククリアグレー



イメージを一新した
NEW T-GRABIC

愛車の元元はコレキマリ!
New WHEEL COLLECTION 2023

対象はオフ系のメジャーであるプラドやハイラックス、デリカD:5あたり。ゴツ系タイヤとも相性抜群だ。装着サイズは、デモカーの状態やヤインナー干渉あり。あくまでも参考に。

強靱さと美しいデザインを両立 進化を遂げたシリーズ第3弾

世界有数の過酷さで知られる、クルマとバイクのデザートレース「パハ1000」。その参戦車両が履くモデルの血統を受け継ぐ「ティグラビック」。新たに登場した通算3作目となるモデルは、さらなる機能美の追求をコンセプトとする骨太系ワンピース。シリーズの特徴である、直感的に感じるオフロード性を一段と高めるだけでなく、本格四駆車にもマッチする、一般のバンセングャーホイールの要素も意識した最新作であり、らしさを残しつつデザインを大きく変更。例えば、前作の流れを汲んだツインスポークで足長感とコンタクトを両立させたほか、スポーク間にトラス形状と呼ぶ剛性と強度を高めるブリッジを採用。オフ系ホイールの定番手法であるビードロック風のリムアレンジをあえて見送りつつ、逆にピアスボルトに見立てたディンプル形状のアクセントを加えるなど、意匠面での個性が光る。

さらにこだわりは色にも見られ、新作ではスポーク天面の切削にも挑戦。ギア感のあるセンターオーナメントはレッドリングを盛り込みつつ全面刷新と、第3弾にして過去最大級の進化を遂げた1本となっている。



KADDIS
TOYOTA LAND CRUISER PRADO
ホイールサイズ | 17×8.0J+20
ホイールカラー | マットブラック